

平成 26 年度

沖縄県立埋蔵文化財センター

年 報



目 次

I 概 要

1. 設置目的	1
2. 沖縄県立埋蔵文化財センターの歩み	1
3. 施設の概要	2
4. 組織と職員一覧（平成 26 年度）	4
5. 調査業務	
(1) 発掘調査	5
(2) 資料整理	5
6. 資料の貸出・利用	6
7. 普及・活用	
(1) 常設展示及び屋外展示等	6
(2) 団体見学	9

II 平成 26 年度の報告

1. 予算及び決算	
(1) 埋蔵文化財センター主要事業及び内訳	10
(2) 財源内訳	10
2. 発掘調査等	
(1) 分布調査、試掘・確認調査	11
(2) 保存・活用目的の調査	13
(3) 記録保存調査	13
(4) 工事立会	13
(5) 市町村支援	13
(6) 資料整理・報告書作成	14
3. 普及・活用	
(1) 入所者一覧	15
(2) 団体見学一覧	16
(3) 活動実績	17
4. 資料の貸出・利用	
(1) 遺物の貸出件数	19
(2) 資料の利用件数	19
5. 研修・職員派遣	
(1) 研修	19
(2) 職員派遣	19

I 概要

1. 設置目的

沖縄県立埋蔵文化財センターは、埋蔵文化財の調査研究及び保存を行うとともに、その活用を図り、教育、学術及び文化の発展に資する目的で設置され、次の業務を行っている。

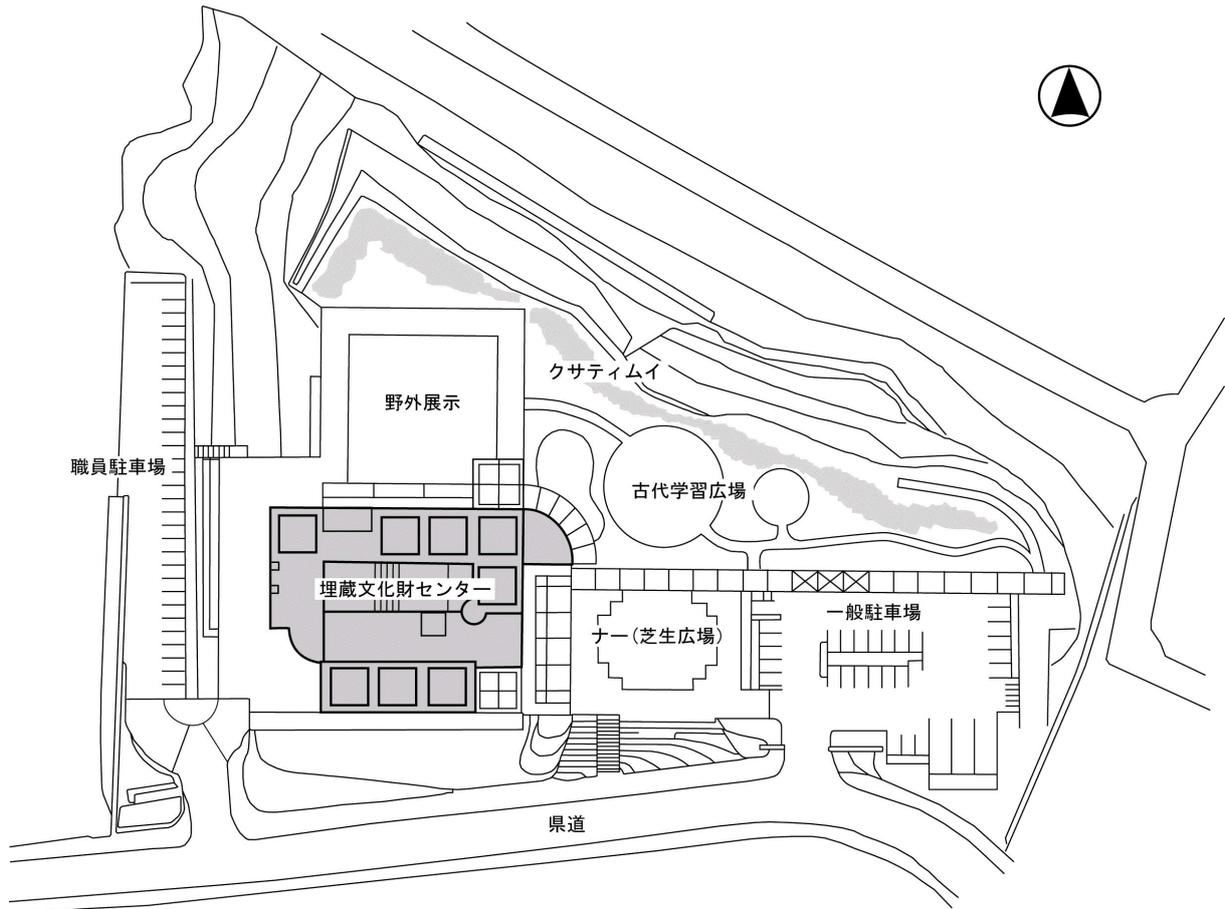
- (1) 埋蔵文化財の調査研究
- (2) 埋蔵文化財及び埋蔵文化財に関する資料の収集、保存及び活用
- (3) 埋蔵文化財に関する知識の普及
- (4) 埋蔵文化財の調査に関する指導及び研修
- (5) 前各号に掲げるもののほか、埋蔵文化財センターの設置目的を達成するために必要な業務

2. 沖縄県立埋蔵文化財センターの歩み

- | | |
|--------------|---|
| 平成 5 年 3 月 | 沖縄県立埋蔵文化財センター基本構想が承認される。 |
| 平成 6 年 10 月 | 沖縄県立埋蔵文化財センター基本計画が策定される。 |
| 平成 7 年 3 月 | 沖縄県立埋蔵文化財センター基本設計完了 |
| 平成 7 年 11 月 | 沖縄県立埋蔵文化財センター実施設計完了 |
| 平成 10 年 10 月 | 沖縄県立埋蔵文化財センター建設工事着工 |
| 平成 11 年 10 月 | 沖縄県立埋蔵文化財センター建設工事竣工 |
| 平成 11 年 12 月 | 平成 11 年第 7 回沖縄県議会で「沖縄県立教育機関設置条例の一部を改正する条例」が可決、沖縄県立埋蔵文化財センターの設置が承認される。 |
| 平成 12 年 3 月 | 定例県教育委員会で「沖縄県立埋蔵文化財センターの管理に関する規則」が承認される。 |
| 平成 12 年 3 月 | 沖縄県立埋蔵文化財センター展示、外構、植栽工事完了 |
| 平成 12 年 4 月 | 沖縄県立埋蔵文化財センター開所 |
| 平成 13 年 3 月 | 企画展示室除湿工事完了 |
| 平成 14 年 3 月 | 収蔵庫空調設備工事完了 |

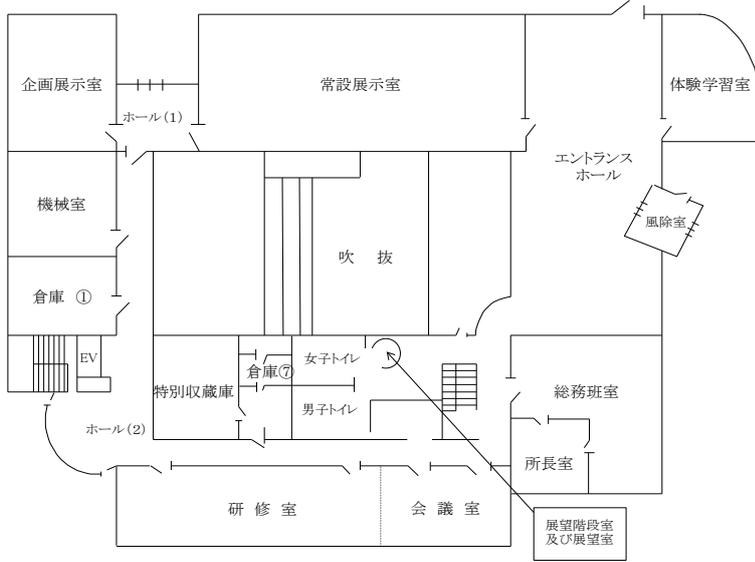
3. 施設の概要

地名・地番	沖縄県中頭郡西原町字上原 193 番地の 7
敷地面積	15,635 m ²
構造	鉄筋コンクリート造
規模	地上 2 階
建築面積	3,688.29 m ²
延床面積	4,179.88 m ²

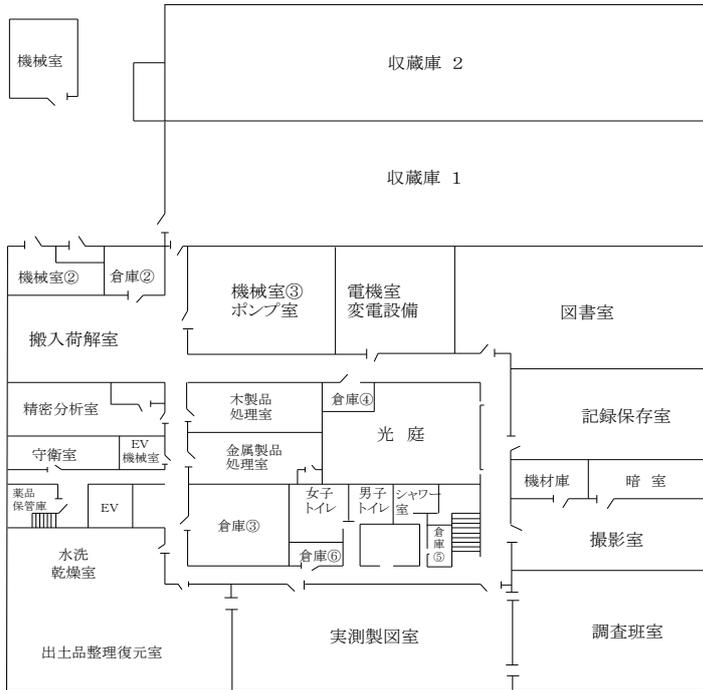


埋蔵文化財センター配置図

建物室別面積



2階平面図

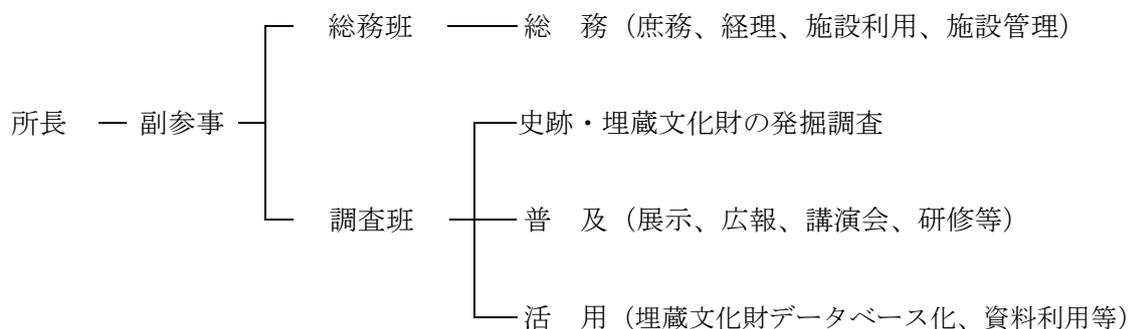


1階平面図

区分	室名	面積 (㎡)
展望室	展望室	14.33
	展望階段室	14.33
	小計	28.66
2階	エントランスホール	161.24
	体験学習室	64.8
	常設展示室	170.84
	企画展示室	87.8
	研修室	170.58
	会議室	86.39
	特別収蔵庫	69.7
	総務班室	66.55
	所長室	20.63
	給湯室・トイレ等	398.02
小計	1296.55	
1階	収蔵庫	1319.76
	搬入荷解室	52.04
	木製品処理室	33.89
	金属製品処理室	35.01
	精密分析室	40.32
	水洗乾燥室	57.01
	出土品整理復元室	124.71
	実測製図室	206.84
	調査班室	101.1
	撮影室	66.99
	記録保存室	85.19
	図書室	118.21
	機械室	109.82
給湯室・トイレ等	480.73	
小計	2831.62	
屋外機械室	23.05	
合計 (㎡)	4179.88	

4. 組織と職員一覧（平成26年度）

【組織】



【職員一覧】

所長 下地英輝
副参事 島袋洋

総務班	
職名	氏名
総務班長	新垣勝弘
主査	新里靖
主査	平良広海
主任	比嘉睦
主事	當山彬

調査班	
職名	氏名
調査班長	盛本勲
指導主事	神村智子
主任専門員	仲座久宜
主任専門員	羽方誠
主任専門員(派遣)	中山晋
主任専門員	山本正昭
主任専門員	瀬戸哲也
主任	新垣力
主任	大堀皓平
主任	金城貴子
専門員	具志堅清大
専門員	亀島慎吾
専門員	宮城淳一

5. 調査業務

(1) 発掘調査

沖縄県立埋蔵文化財センターにおける発掘調査を予算で区分すると、大きく文化庁国庫補助事業と、受託・分任事業の二つに分けられる。

文化庁国庫補助事業には、埋蔵文化財の分布状況や範囲等を把握し、埋蔵文化財を保護する際の基礎資料を収集するために行われる表面踏査、試掘調査、確認調査のほか、重要遺跡を保存・活用するための発掘調査も含まれる。

一方で、受託・分任事業で行う発掘調査は、開発工事及び公園整備により破壊される部分について、やむを得ず記録保存するために実施され、調査後は現地に遺跡が残らないことが多い。記録保存のための発掘調査に係る費用は開発側に協力してもらっている。なお、開発側が沖縄県以外の場合は受託事業、開発側が沖縄県の場合は分任事業となる。

(2) 資料整理

遺跡の発掘調査により得られた出土品は、下表の流れで整理され、遺構図や写真等とともに発掘調査報告書に掲載される。

発掘調査報告書の刊行をもって発掘調査事業の完了となるが、資料整理には複数年を要することがほとんどである。

発掘調査事業完了後も、出土品、写真、図面等の記録類は適切に当センターで保管され、展示会等による公開のほか、国内外の研究者等による資料調査等に活用される。

資料整理の流れ

STEP 1 洗 浄	出土品についた土などをきれいに落とす（基本的に現場で実施）。
STEP 2 注記・分類	出土品の一点一点に遺跡名や出土地点、出土日などの情報を書く（注記）。その後、土器、石器、陶磁器など種類別に分ける作業を行う（分類）。
STEP 3 接合・拔出し	出土品の多くが小破片のため、できるだけもとの形が分かるように破片同士をつなぎあわせる（接合）。その後、調査報告書に掲載する出土品を選ぶ（拔出し）。
STEP 4 実測・復元	出土品をよく観察し、形状や特徴などが分かるように、平面・断面・側面図などを作成する（基本的に実物大）。作成した図面をもとに、出土品をもとの形に復元する。破片が見つからなかった部分は、必要に応じて石膏などで補う。
STEP 5 トレース	報告書に掲載するために、実測した図をきれいなぞる。
STEP 6 写真撮影	報告書に掲載するための写真を撮影する。
STEP 7 図・図版作成	トレースした図や写真をページ毎に配置して番号等を付す。

6. 資料の貸出・利用

当センターで保管・管理している資料（出土遺物・写真類・文献等）は、遺物展示などで各教育機関や博物館等が利用する際に、資料貸出を行っている。また、報道機関等からの利用希望があった際には、写真の提供を行っている。出土遺物に関しては、国内外の研究者等の資料閲覧を受け入れている。

当センター所蔵資料を利用する際には、「沖縄県立埋蔵文化財センター 所蔵」と明記するとともに、図録や論文等に掲載した場合は、掲載資料を2部寄贈することとなっている。

貸出及び閲覧等の申請書類の様式は、ホームページに掲載しているが、前述したように他機関へ貸出している場合があるので、事前に資料の利用可否や閲覧日等について連絡調整が必要となっている。

7. 普及・活用

当センターでは、埋蔵文化財に関する資料の保存（記録）と活用を図ると同時に、知識の普及を通じて教育や学術及び文化の発展に寄与することを目的としている。

具体的には、団体見学の受け入れや体験教室、企画展、文化講座の開催を始め、資料の貸出しと図書閲覧室の利用などを通して埋蔵文化財に関する情報の活用を図り、県民をはじめとする多くの人々が、沖縄県の埋蔵文化財の重要性について理解を深められるようにしている。

（1）常設展示及び屋外展示等

①常設展示室（170.84 m²）

常設展示室（図1）では、遺物や遺跡を展示・紹介することで、沖縄県の歴史や文化が理解できるような展示を行っている。常設展示室では、9つのテーマにそったコーナー展示を設け、中央にはこれまで発掘した遺跡をもとに再現した「2000年前の琉球のムラ」のジオラマ（模型）と当時の食べ物を復元した「琉球御前」の展示ケースを設置し、さらに2000年前の埋葬施設を復元した「石棺墓の半截模型」を展示している。

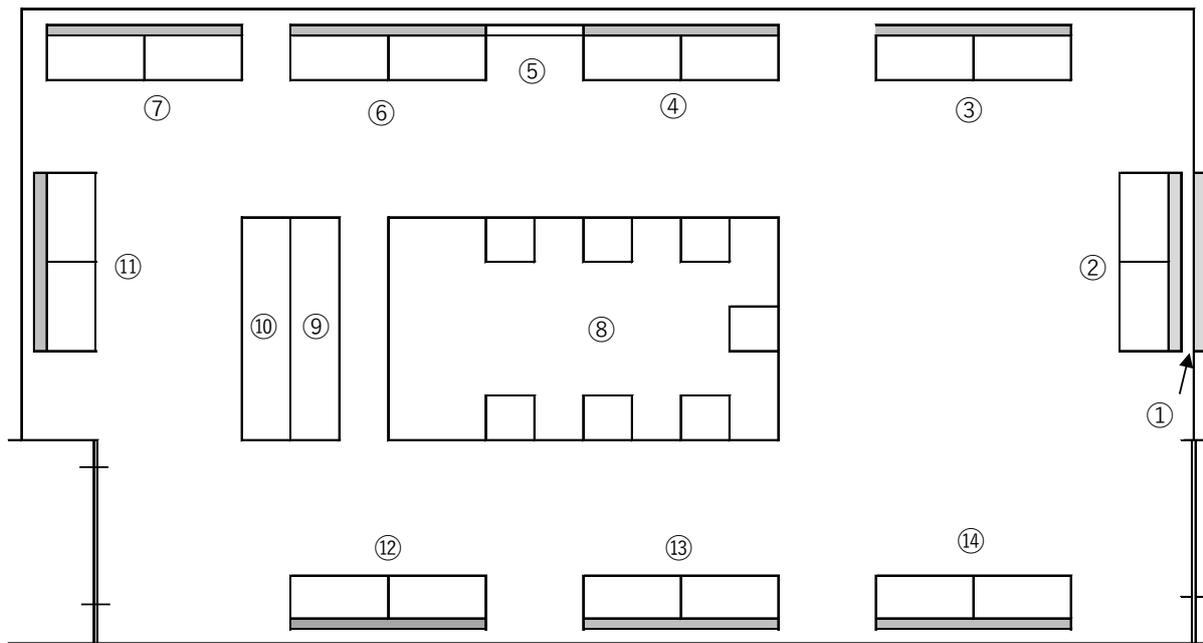


図1 常設展示室

【展示内容】

- ① 沖縄県主要遺跡分布図
- ② 沖縄新石器時代人はどういう所に住んでいたのか
- ③ 沖縄にはいつごろから人が住みついたのか
- ④ 土器で見る沖縄先史時代の文化圏
- ⑤ 具志川島岩立遺跡西区より剥ぎ取った土層
- ⑥ 住まいと道具－1
- ⑦ 貝の道
- ⑧ 再現された「2000年前の琉球のムラ」(ジオラマ)
- ⑨ 復元した「琉球御前」
- ⑩ 復元した「石棺墓の半截模型」
- ⑪ グスクの移り変わり
- ⑫ 海外交易を物語る貿易陶磁器
- ⑬ 沖縄の古窯
- ⑭ 先史時代の宮古・八重山諸島

②体験学習室 (64.80 m²)

体験学習室(図2)では、実際に手で触れたり、体験したりすることを通じて、当センターの活動や、先人の知恵や生活について理解を深めてもらう活動を行っている。

体験学習室に入って右側のコーナーでは、埋蔵文化財センターで行っている「発掘調査」や「資料整理」の活動をパネルでわかりやすく説明している。またトレース台や実測機を置いて、「資料整理」の活動を体験できるようにしている。

また窓際のテーブルでは、「資料整理」の接合の作業を体験してもらうため、当センターで所蔵している遺物の写真を使ったパズルを設置している。

さらに体験学習室の真ん中にある円形のテーブルには、沖縄諸島で発掘されている縄文時代の主な土器のレプリカを並べ、実際に手で触ったり、持ったりしてもらうことで、縄文時代の人々の生活を肌で感じられるようにしている。

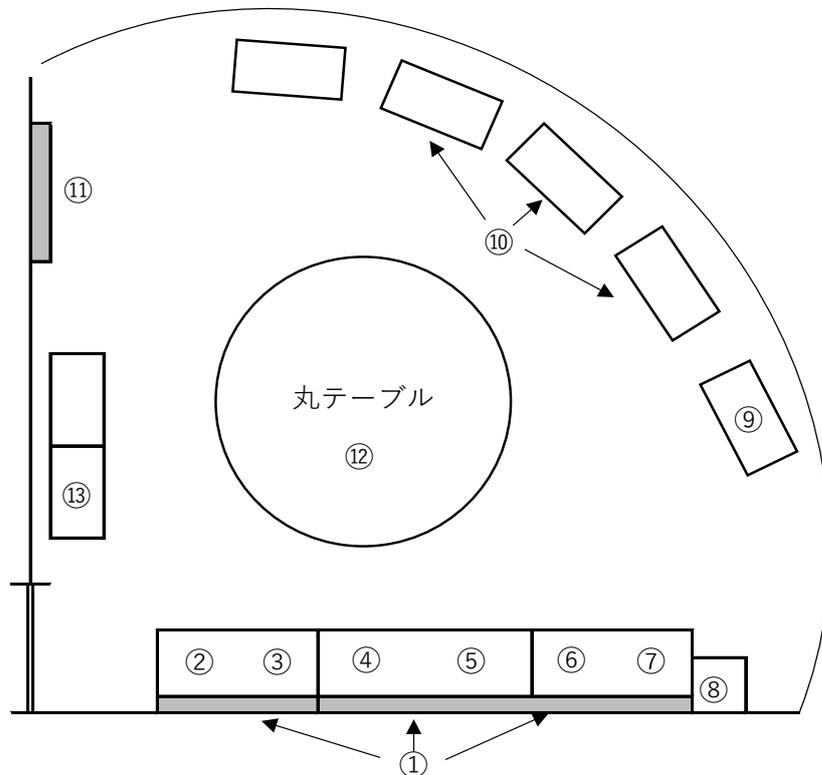


図2 体験学習室

【展示内容】

- | | |
|--|--------------------------|
| ① パネル「発掘調査ってどう掘るの？」
「資料整理の様子をのぞいてみよう」 | ⑧ 発掘調査で使う道具 |
| ② トレース台 | ⑨ 日本で一番古いお墓 |
| ③ 実測機 | ⑩ 接合にチャレンジ (パズル) |
| ④ 接合・復元 | ⑪ 重要文化財首里城京の内跡出土品
パズル |
| ⑤ ナンバーリング | ⑫ 縄文時代の主な土器 |
| ⑥ 洗い作業 | ⑬ 火起こし器 |
| ⑦ 型式学 | |

③企画展示室（87.80 m²）

企画展の会場として使用している。企画展示室中のエアータイト（備えつけ展示ケース）は、密閉して温湿度を管理することができ、国指定重要文化財の展示にも対応できる。

④古代学習広場

「古代学習広場」は、「親子体験学習」や「火おこし体験」、「土器づくり」等で活用している。

⑤研修室（170.58 m²）

考古学に関する会議や研修、または文化講座等を開催している。

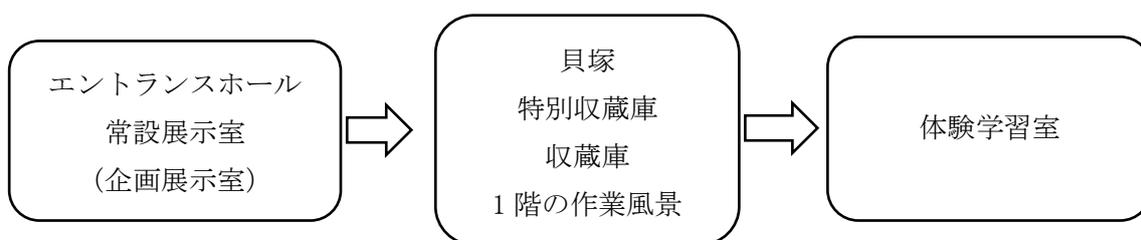
⑥屋外展示（貝塚コーナー）

当センター入口に向かって左手に、貝塚コーナーを設置している。伊江村にあるナガラ原西貝塚と阿良貝塚から発掘された貝殻を使用して貝塚を再現しており、自由に手にとって貝を見ることができる。

(2) 団体見学

当センターは、学校や自治会などの様々な団体の団体見学を受け入れており、その際担当職員によるガイド（解説案内）を行っている。団体見学の際は、常時公開されている常設展示室や企画展示室、体験学習室の案内以外にも、収蔵庫の見学や当センターでの資料整理業務の見学なども実施している。

【団体見学のモデルコース】



【団体見学受付の際の注意事項】

- ・団体見学は、10名様以上の団体が対象。
- ・団体見学を希望する際には、「団体見学ガイド申込書」を提出する。
- ・団体見学ガイドを申し込む場合は、希望日の1週間前までに電話で確認する。
- ・「団体見学ガイド申込書」は、希望日の5日前までに提出する。FAX受付の場合は原本を当日持参して提出する。
- ・団体見学は原則として休所日を除く火曜日～金曜日（9時～17時）に実施している。

Ⅱ 平成26年度の報告

1. 予算及び決算

(1) 埋蔵文化財センター主要事業及び内訳

単位：円

事業区分	事業名	当初予算	補正額等	最終予算	決算額	繰越額	
国庫補助事業	(文化庁計上分) 国宝重要文化財等 保存整備費補助金	(1) 県内遺跡発掘調査等	93,978,000	▲ 5,618,244	88,359,756	86,492,049	0
		(2) 京の内跡出土陶磁器 保存修理	5,000,000	▲ 33,800	4,966,200	5,000,000	0
		(3) 県内埋蔵文化財総合 活用	6,000,000	▲ 2,500	5,997,500	5,844,260	0
		国庫補助事業計	104,978,000	▲ 5,654,544	99,323,456	97,336,309	0
受託事業	(受託元) 沖縄総合事務局	(1) 首里城跡発掘調査	60,000,000	▲ 5,945,000	54,055,000	54,055,000	0
	(受託元) 沖縄防衛局	(2) 海軍病院発掘調査	45,000,000	▲ 2,350,000	42,650,000	42,650,000	0
		受託事業計	105,000,000	▲ 8,295,000	96,705,000	96,705,000	0
分任事業	(分任元) 沖縄県土木建築部	首里城公園発掘調査 (現年)	42,564,000	▲ 24,108,294	18,455,706	18,455,706	0
	(分任元) 沖縄県土木建築部	首里城公園発掘調査 (繰越)	13,439,500	▲ 6,465,190	6,974,310	6,974,310	0
		分任事業計	56,003,500	▲ 30,573,484	25,430,016	25,430,016	0
県単事業	学校建設費	首里高校内埋蔵文化財 発掘調査	125,000,000	▲ 12,309,000	112,691,000	129,073,876	0
	人材育成推進費	東村跡発掘調査	46,793,000	0	46,793,000	44,663,223	0
	文化施設事業費	埋蔵文化財センター事 業費	17,541,000	0	17,541,000	17,333,946	0
		県単事業計	189,334,000	▲ 12,309,000	177,025,000	191,071,045	0
総合計		455,315,500	▲ 56,832,028	398,483,472	410,542,370	0	

(2) 財源内訳

単位：円

	合計	国庫	特定財源	県債	一般
当初予算額	455,315,500	97,862,500	105,000,000	0	252,453,000
補正額等	▲ 56,832,028	▲ 3,030,000	▲ 8,295,000	0	▲ 45,507,028
最終予算	398,483,472	93,238,500	96,705,000	0	208,539,972
決算額	410,542,370	84,382,000	96,705,000	0	229,455,370
繰越額	0	0	0	0	0

2. 発掘調査等

(1) 分布調査、試掘・確認調査

No.	遺跡名等	所在地	担当者	調査の目的	調査期間	調査面積	時代/種類
1	喜友名前原第三遺跡 喜友名東原第三遺跡	宜野湾市(普天間飛行場内)	大堀皓平、 宮城淳一	埋蔵文化財の 範囲内容確認 (基地内文化 財分布調査)	平成26年9月2 日～平成27年 3月24日	572㎡	縄文・グスク/ 集落跡 近世・近代/生 産遺跡
2	伊地鉦山の防空壕跡群 根路銘の防空壕跡群 ギナン原のトーチカ跡 石川岳の住民避難地跡 山グシの砲台跡 アハシヤガマ ニイヤティヤガマ 公益質屋跡の弾痕 与那城防空監視哨跡 津堅新川・クボウグスクの砲台跡 (陣地壕群) ヌチヌジガマ 楚辺海岸の砲台跡 都屋の砲台跡 津覇のトーチカ跡 161.8高地の戦闘指揮所・陣地 壕跡群 第62師団野戦病院棚原分室壕 跡 我如古の陣地壕跡群 前田高地の陣地壕跡群 高良の掩体壕跡 県庁・警察部壕(シッポウジヌガ マ) 旧真和志村役場・那覇警察署壕 跡 当間海軍砲台跡 楚辺一丁目(城岳)の陣地壕跡 沖縄師範健児之塔付近(の壕 跡) 糸満防空監視哨跡 沖縄陸軍病院山城本部壕跡 与座の監視所跡 豊見城海軍司令部壕跡 保栄茂の監視所跡 佐敷海軍水溜(給水タンク)跡 沖縄陸軍病院糸数分室跡(アブ チラガマ) 旧佐敷村役場壕跡 第24師団第1野戦病院壕跡 第24師団第1野戦病院新城分 院壕跡(ヌヌマチガマ・ガラビガ マ)	国頭村 大宜味村 恩納村 " 伊江村 " " " うるま市 " " 読谷村 " 中城村 " 西原町 宜野湾市 浦添市 那覇市 " " " 糸満市 " " " 豊見城市 " 南城市 " " 八重瀬町 "	瀬戸哲也	埋蔵文化財の 範囲内容確認 (戦争遺跡詳 細確認調査)	平成26年6月 ～12月までの 間に随時	—	近代/戦争遺 跡

No.	遺跡名等	所在地	担当者	調査の目的	調査期間	調査面積	時代/種類
2	北山の陣地壕跡	渡嘉敷村	瀬戸哲也	埋蔵文化財の 範囲内容確認 (戦争遺跡詳細確認調査)	平成26年6月 ～12月までの 間に随時	—	近代/戦争遺跡
	真鼻毛の偽砲台跡	栗国村					
	陸軍宮古島中飛行場戦闘指揮所跡	宮古島市					
	野原岳の電波探知機壕跡	〃					
	野原の御真影奉護壕跡	〃					
	西更竹司令部壕跡	〃					
	ピンフ嶺の砲台跡	〃					
	久松のトーチカ跡	〃					
	タカシカパーの銃眼跡	〃					
	東仲宗根(第313設営隊)の陣地壕跡群	〃					
	崎枝海底線陸揚室跡(電信屋)	石垣市					
	大浜の掩体壕跡	〃					
	フルスト原の無蓋掩体壕跡	〃					
	白水の御真影奉護壕跡	〃					
	於茂登前山の砲台・弾薬庫跡	〃					
	掲揚台の監視所・砲台・コンクリート製壕跡	北大東村					
	見張海岸の銃眼跡	〃					
	黒部岬の壕跡	〃					
	長幕北方の陣地壕(大正村の壕)跡	〃					
	長幕南方(山下隊)の陣地壕跡	〃					
	具志堅洞陸軍本部壕跡	南大東村					
	山下洞陸軍本部壕跡	〃					
	大東神社の海軍本部壕跡	〃					
	小沢洞砲台跡	〃					
	漁港付近の弾薬庫跡	〃					
	万座毛の銃眼跡	〃					
	塩屋の銃眼跡	〃					
	亀池港北東の海軍監視所跡	〃					
	日の丸山電波探知機壕跡	〃					
	秋葉神社の海軍通信所跡	〃					
	(以上全64遺跡)						

(2) 保存・活用目的の調査

No.	遺跡名等	所在地	担当者	調査の目的	調査期間	調査面積	時代/種類
1	首里城跡	那覇市	新垣力	史跡整備に伴う 範囲確認調査	平成26年7月1日～平成27年3月27日	800㎡	グスク・近世・近代/城館跡
2	阿波連浦貝塚	渡嘉敷村	瀬戸哲也、 宮城淳一	遺跡の保存整備 に伴う範囲確認 調査	平成26年8月4日～9月11日	20㎡	弥生～平安 並行/集落跡
3	白保竿根田原洞穴遺跡	石垣市	仲座久宜	重要遺跡確認調査	平成26年6月2日～7月3日	4㎡	旧石器・下 田原期・グ スク/洞穴遺 跡
4	中城御殿跡(県立博物館跡地)	那覇市	山本正昭	首里城公園整備 に伴う遺構確認 調査	平成26年6月2日～11月28日	420㎡	近世・近代/ 城館跡

(3) 記録保存調査

No.	遺跡名等	所在地	担当者	調査の目的	調査期間	調査面積	時代/種類
1	東村跡	那覇市	金城貴子、 具志堅清大	離島児童・生徒 支援センター (仮称) 建設	平成26年7月1日～12月26日	約450㎡	グスク・近世・近代/集落跡
2	中城御殿跡(首里高校内)	那覇市	亀島慎吾、 羽方誠	首里高校校舎改築	平成26年4月7日～平成27年2月27日	約5,230㎡	グスク・近世・近代/城館跡

(4) 工事立会

No.	遺跡名等	所在地	担当者	契機	期間	面積	時代/種類
1	(なし)						

(5) 市町村支援

No.	遺跡名等	所在地	担当者	調査の目的	期間	面積	時代/種類
1	(なし)						

(6) 資料整理・報告書作成

No.	遺跡名・報告書名等	所在地	担当者	分析指導・協力等	経費負担	調査年度	刊行年月
1	キャンプ瑞慶覧内病院地区に係る文化財発掘調査報告書1－普天間古集落遺跡－(第74集)	宜野湾市	知念隆博、金城貴子、具志堅清大	－	沖縄防衛局	平成21・22	平成27年3月
2	沖縄県の戦争遺跡－平成22～26年度戦争遺跡詳細確認調査報告書－(第75集)		瀬戸哲也	池田榮史(琉球大学)、當眞嗣一(沖縄考古学会)、張本文昭(沖縄キリスト教短期大学)、村上有慶(沖縄県職業能力開発大学校)、吉浜忍(沖縄国際大学)	文化庁 県	平成22～26	平成27年3月
3	基地内文化財7 大山加良当原第四遺跡確認調査、神山黒数原古墓群分布調査 付編：沖縄県における駐留軍用地内の埋蔵文化財取扱い方針(第76集)	宜野湾市	大堀皓平、宮城淳一	－	文化庁 県	平成20～25	平成27年3月
4	首里城跡－銭蔵地区発掘調査報告書－(第77集)	那覇市	仲座久宜	－	内閣府沖縄総合事務局(国営沖縄記念公園事務所)	平成18～20	平成27年3月
5	首里城跡－大台所、料理座地区周辺発掘調査報告書－(第78集)	那覇市	盛本勲、山本正昭、新垣力	－	内閣府沖縄総合事務局(国営沖縄記念公園事務所)	平成8	平成27年3月
6	キャンプ瑞慶覧内病院地区に係る文化財発掘調査報告書2－普天間古集落遺跡・普天間後原第二遺跡・普天間石川原遺跡－(第79集)	宜野湾市	知念隆博、金城貴子、具志堅清大	－	沖縄防衛局	平成21・22	平成27年3月
7	首里城跡銭蔵東地区	那覇市	瀬戸哲也	樋泉岳二(早稲田大学)、前田孝允(琉球漆器保存会)、西野望(矢掛町教育委員会)	内閣府沖縄総合事務局(国営沖縄記念公園事務所)	平成23～25	平成27年度刊行予定
8	中城御殿跡	那覇市	山本正昭	甲元眞之(熊本大学)、倉成多郎(那覇市立壺屋焼物博物館)、石井龍太(城西大学)	県土木建築部(都市計画・モノレール課)	平成24	平成27年度刊行予定
9	白保竿根田原洞穴遺跡	石垣市	仲座久宜	稲田孝司(岡山大学)、安里嗣淳、神谷厚昭、佐藤宏之(東京大学大学院)、吉村和久(九州大学)、石原与四郎(福岡大学)、土肥直美(琉球大学)	文化庁 県	平成24～26	平成28年度刊行予定
10	中城御殿跡(首里高校内)	那覇市	亀島慎吾	池田榮史(琉球大学)、上原静(沖縄国際大学)、黒住耐二(千葉県立中央博物館)、當眞嗣一(沖縄考古学会)、福島駿介(琉球大学)	県教育庁施設課	平成25・26	平成28年度刊行予定
11	東村跡	那覇市	金城貴子、具志堅清大	上原静(沖縄国際大学)	県教育庁教育支援課	平成26	平成28年度刊行予定

※分析指導・協力等は平成26年度の実績

3. 普及・活用

平成26年度は、6,832人の方々に当センターをご利用いただいた。企画展や文化講座、夏休み体験学習といったイベントの開催、団体見学や職場体験の受け入れ、出前講座の実施を通じて、県民をはじめとする多くの人々が、沖縄県の埋蔵文化財の重要性について理解を深められる機会を提供した。

企画展に関しては、7月に「首里城京の内跡出土品展～蘇る、異国からの宝物」展、11月に「発掘調査速報2014」展、1月には「白保竿根田原洞穴遺跡企画展」を開催した。

文化講座は、企画展に関連した講座を3つ実施することができた。夏休み体験学習は8月に「夏休み体験学習「先史人の技～貝のアクセサリー作り～」を実施し、多くの保護者・児童が参加した。団体見学は、31団体、2,032人を受け入れ、職場体験は10校、計28人の生徒を受け入れた。また4つの学校に出向いて出前授業を行った。

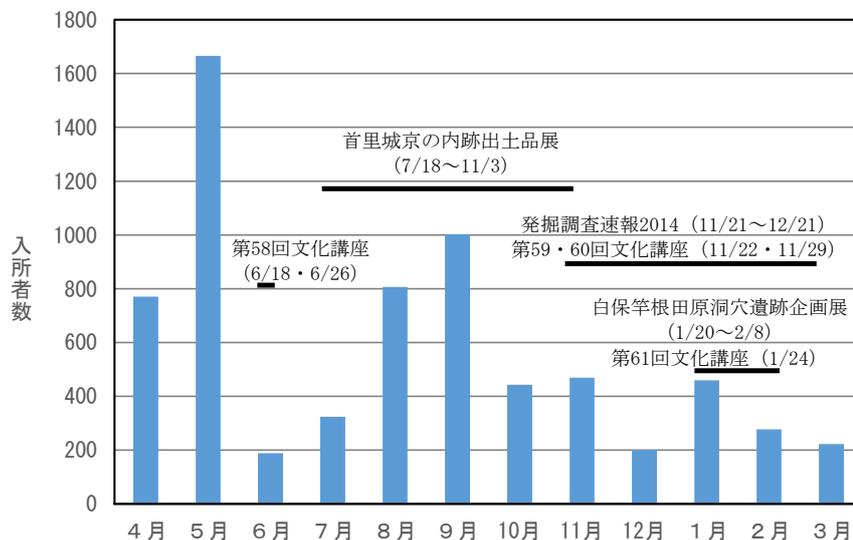
(1) 入所者一覧

単位：人

月	一般見学						施設利用 ※	総計
	小学生	中学生	高校生	大学生	一般	合計		
4月	583	12	2	30	106	733	38	771
5月	1,307	13	3	56	229	1,608	58	1,666
6月	14	1	1	3	149	168	20	188
7月	39	5	8	53	149	254	70	324
8月	163	12	7	33	194	409	398	807
9月	42	6	17	13	553	631	372	1,003
10月	10	0	11	113	248	382	61	443
11月	22	3	3	33	276	337	132	469
12月	6	0	0	45	150	201	0	201
1月	49	2	2	29	299	381	79	460
2月	14	1	1	6	163	185	92	277
3月	149	2	5	2	65	223	0	223
合計	2,398	57	60	416	2,581	5,512	1,320	6,832

※文化講座、資料閲覧、研修室使用等で来所した人数

平成26年度 来所者一覧



(2) 団体見学一覧

No.	見学月日	曜日	団体名	見学者数 (人)
1	4月10日	木	西原東小学校	76
2	4月15日	火	赤道小学校	121
3	4月16日	水	坂田小学校	148
4	4月17日	木	与儀小学校	76
5	4月18日	金	長田小学校	99
6	4月22日	火	琉球大学留学センター	12
7	4月24日	木	琉球大学留学センター	16
8	4月30日	水	垣花小学校	43
9	5月2日	金	北谷第2小学校	91
10	5月2日	金	浦添小学校	101
11	5月7日	水	普天間第2小学校	99
12	5月13日	火	神森小学校	127
13	5月15日	木	北中城小学校	67
14	5月16日	金	北中城小学校	67
15	5月27日	火	大山小学校	77
16	5月27日	火	池田自治会	30
17	5月29日	木	琉球大学留学センター	20
18	6月25日	日	公民科教育研究会	12
19	7月16日	水	沖縄国際大学	50
20	8月1日	金	ライフサポートささえ愛	25
21	8月12日	火	北中城児童館	50
22	8月13日	水	琉球大学	20
23	8月19日	火	にじいろ学童	25
24	8月20日	水	公民科教育研究会	20
25	9月3日	水	那覇まちまーい	14
26	9月17日	水	読谷村立歴史民俗資料館	12
27	10月16日	木	沖縄国際大学	50
28	10月22日	水	幸地自治会	30
29	10月23日	木	沖縄国際大学	50
30	11月12日	水	老人保健施設てだこ苑	20
31	11月27日	木	中頭地区退職校長会	30
32	11月28日	金	浦添市立教育研究所	5
33	12月4日	木	琉球大学	35
34	12月12日	金	島尻地区校長会	50
35	1月22日	木	琉球大学留学センター	20
36	2月14日	土	県民カレッジ	60
37	2月19日	木	社会教育主事講習会	20
38	2月19日	木	県保健医療部	20
39	3月9日	月	小祿南小学校	144
合 計				2,032

(3) 活動実績

①企画展

No.	名称	期間	観覧者数 (人)
1	重要文化財公開「首里城京の内跡出土品展 ～蘇る、異国からの宝物」	平成26年7月18日～11月3日	1,562
2	発掘調査速報2014	平成26年11月21日～12月21日	332
3	白保竿根田原洞穴遺跡企画展	平成27年1月20日～2月8日	327

②文化講座

回	名称	開催日	講師	参加者数 (人)
第58回	白保竿根田原 洞穴遺跡関連 講座	平成26年6月 18日・26日	仲座久宜（県立埋蔵文化財センター主任専門員） 土肥直美（琉球大学非常勤講師） 河野礼子（国立科学博物館研究主幹） 波木基真（県立埋蔵文化財センター文化財調査嘱託員） 篠田謙一（国立科学博物館人類史研究グループ長）	49
第59回	発掘調査速報 2014①	平成26年11月 22日	新垣力（県立埋蔵文化財センター主任） 金城貴子（県立埋蔵文化財センター主任） 具志堅清大（県立埋蔵文化財センター専門員） 亀島慎吾（県立埋蔵文化財センター専門員）	67
第60回	発掘調査速報 2014②	平成26年11月 29日	仲座久宜（県立埋蔵文化財センター主任専門員） 瀬戸哲也（県立埋蔵文化財センター主任専門員） 大堀皓平（県立埋蔵文化財センター主任） 宮城淳一（県立埋蔵文化財センター専門員）	56
第61回	白保竿根田原 洞穴遺跡講演 会	平成27年1月 24日	盛本勲（県立埋蔵文化財センター調査班長） 安里嗣淳（元県立埋蔵文化財センター所長） 稲田孝司（岡山大学名誉教授） 篠田謙一（国立科学博物館人類史研究グループ長）	53

③夏休み体験学習

No.	名称	開催日	参加者数 (人)
1	「先史人の技～貝のアクセサリ作り～」	平成26年8月2日	88

④職場体験

No.	学校名	期間	参加者数 (人)
1	西原東中学校	平成26年6月30日～7月3日	3
2	首里高等学校	平成26年7月1日～3日	3
3	西原中学校	平成26年7月1日～3日	3
4	識名小学校	平成26年7月25日	2
5	開邦高等学校	平成26年10月1日～3日	3
6	知念小学校	平成26年10月2日	2
7	首里東高等学校	平成26年11月11日～13日	3
8	北中城高等学校	平成26年11月11日～13日	3
9	浦添高等学校	平成26年11月12日～14日	3
10	首里中学校	平成27年1月28日～1月30日	3

⑤出前授業

No.	学校名	内容	開催日	参加者数 (人)
1	石嶺小学校	沖縄の貝塚時代	平成26年 5月12日・13日	160
2	本部高等学校	貝塚時代の沖縄	平成26年11月10日	20
3	北谷高等学校	沖縄の歴史	平成27年 1月22日	80
4	那覇国際高等学校	アジアの中の沖縄	平成27年 2月 6日	40

⑥現地説明会

No.	名 称	開催日	参加者数 (人)
1	中城御殿跡(県立博物館跡地)	平成26年12月14日	76
2	中城御殿跡(首里高校内) ※首里高等学校生徒対象	平成26年 6月30日～7月18日	880
3	中城御殿跡(首里高校内)	平成26年 9月20日	80
4	東村跡	平成26年11月30日	74
5	首里城跡(継世門北地区)	平成27年 1月20日	150
6	中城御殿跡(首里高校内)	平成27年 2月21日	124



白保竿根田原洞穴遺跡企画展



文化講座



職場体験



現地説明会

4. 資料の貸出・利用

(1) 遺物の貸出件数

機関 期間	沖縄県立 博物館・美術館	県内博物館・ 教育委員会	県外博物館・ 教育委員会	国立 博物館	海外 博物館	その他	小計
通年	1	3	0	1	0	0	5
短期	1	3	2	0	0	2	8
合計	2	6	2	1	0	2	13

(2) 資料の利用件数

機関 目的	県内博物館・ 教育委員会	県外博物館・ 教育委員会	国内の大学・ 研究者等	海外の研 究者等	報道機関	その他 出版社等	小計
遺物閲覧	3	2	13	1	0	1	20
図・写真の 利用	8	5	13	0	5	10	41
合計	11	7	26	1	5	11	61

5. 研修・職員派遣

(1) 研修

No.	名称	期間	参加者
1	第24回行政講座（県・市町村合同）	平成26年8月13日～15日	仲座久宜
2	平成26年度全国公立埋蔵文化財センター連絡協議会 第27回研修会	平成26年10月23日～24日	金城貴子 亀島慎吾
3	平成26年度文化財担当者専門研修「遺跡情報記録調査課程」	平成26年12月16日～19日	宮城淳一

(2) 職員派遣

No.	依頼内容	派遣先・依頼機関	期間	派遣職員
1	平成26年度東日本大震災の復旧・復興事業に伴う埋蔵文化財調査のための職員派遣	福島県教育委員会	平成26年4月1日 ～平成27年3月31日	中山晋



徽章 スイジガイ

沖縄の先史時代には貝を利用した用具や装飾品が多く、貝器文化が大きな特徴となっています。そのなかでスイジガイ（水字貝）製品は広く県内の遺跡から出土する代表的な貝器です。また、近年まで魔除けとして家畜小屋や家の前に吊す風習も広く分布していました。

平成 26 年度

沖縄県立埋蔵文化財センター 年報

編集・発行 沖縄県立埋蔵文化財センター

〒903-0125

沖縄県中頭郡西原町字上原 193 番地の 7

TEL (098) 835-8751

FAX (098) 835-8754
